子育て
レポート

Cloud JAPAN

家族が心から誕生を喜んだ赤ちゃん✧✧生まれてきてくれてありがとう✧✧

一緒にいるだけで
笑顔が満ちて愛しい
気持ちが溢れるよ✧✧

宝物

家族みんながこどもたち
の成長を何より楽しみに
していて、夢がいっぱい
ふくらむんだ✧✧

生きがい
かけがえない
家族

気仙沼で大切なこども
たちを育てる中で、ママも
こどもたちも笑顔になり、
子育てを楽しむにはどうし
たらいいか考えるように
なりました！何よりかわ
いいこどもたちのために
気仙沼で子育てを前向き
に行えるお手伝いをした
いです✧✧

目次

はじめに

代表挨拶・・・・・・・・・・・・4

わたしたちのこと・・・・・・・・5

子育てのこと

絵本カフェって？・・・・・・・・6

今の気仙沼市の現状・・・・・・8

アンケート調査・・・・・・・・・10

空き家のこと

空き家の現状・・・・・・・・・・15

終わりに

助成・協力団体・・・・・・・・・17

スタッフ紹介・・・・・・・・・・18

1-1 代表挨拶

みなさま、こんにちは。
NPO法人Cloud JAPAN代表理事の田中 惇敏と申します。
この度は本報告書を手に取って頂き誠にありがとうございます。

私は母親の大きな愛を受けて育ってきました。
絶えず笑顔で接して貰いましたが、そのとき本当にいつも「心からの笑顔」だったのか
子育てをしていない私には想像はできません。

2011年3月11日、日本を襲った東日本大震災。今日も被災地では皆様からの多大
なるご支援を受けて復興に向かって一歩ずつ進んでいます。支援内容は、高齢者、
子ども、漁業関係者、復興工事、産業再生、移住促進など多岐にわたり
命をかけて従事して下さる皆様に心から感謝申し上げます。

この報告書は、当事者であるママたちが子育ての合間を縫って、気仙沼の子育ての
現状を変えなくてはならないという悲痛な思い、そして子育て先輩ママから後輩ママ
への愛情によって作られました。

後半では「空き家利活用といえばゲストハウス一辺倒」「コミュニティスペース至上主義」の
時代に本当のニーズから生まれたからこその新たな提案がなされています。
この提案は今後全国に広がる可能性を秘めていると信じています。

多くの部分を手書きで作成しましたので見にくい点もありますが、最後まで読んで
頂けると幸いです。

全ては子どもたちの明るい未来のために。
引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

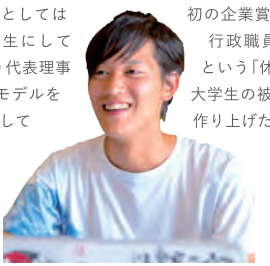
特定非営利活動法人Cloud JAPAN
代表理事　田中 惇敏

田中 惇敏

1993年1月13日
福岡県北九州市生まれ。

NPO法人Cloud JAPAN代表理事
株式会社おかえり代表取締役
NPO法人HOME-FOR-ALL事務局長
九州大学人間環境学府都市共生デザイン専攻

震災当初にボランティアを九州から東北に派遣する団体代表としてボランティアコーディネートを行い、その後、被災地の人の温かさに触れて2014年より4年間休学を決意。
Cloud JAPAN では、熊本、大分、東京をはじめとした全国13 軒の空き家の改修を住民や行政と連携して行い運用している。HOME-FOR-ALL では、伊東豊雄を中心とした建築家と共に東北17軒、熊本80軒の「みんなの家」を建設、建設後の運営の補助を行なっている。
日本一の若手社会起業家を決める YOUNG JAPAN ACTION 2014 にて最優秀賞を獲得。浅田真央氏と共に CM やニュースゼロに出演し、被災地の復興支援を全国に伝えた。
日本トップ200の集まるG1collegeに2014,2015,2016まで招致を受け過去最多参加を誇る。同様にトップ80人のアントレプレナーコミュニティMAKERS UNIVERSITY1期生として日本の学生起業家を牽引。
2017年にはゲストハウスオーナー世界最年少に選出され、学芸出版社より他オーナーと共に「まちのゲストハウス考」を発刊。
現在は、復学して学問を修める傍ら、復興庁主催「新しい東北」ビジネスプランコンテストにおいてNPOとしては2年ぶり、学生としては初の企業賞を受賞した。26歳大学生にして行政職員NPO職員、社長、NPO代表理事という「休学して夢を実現する」モデルを大学生の被災地支援の旗振り役として作り上げた。



1-2 わたしたちのこと

-特定非営利活動法人Cloud JAPAN-

私たちのビジョン

「世界中の人が誰かのために
何かをする喜びを楽しみ続けることができる世の中にする」

私たちのミッション

「ソーシャルアントレプレナーのクラウドを作る」

「最大の変革者である当事者」「その当事者同士が繋がり合うこと」を大切にしてきました。
本報告では、気仙沼の子育てママスタッフが力を合わせて作成しました。

これまでのあゆみ

2012年3月	団体スタッフが東日本大震災の被災地(宮城県気仙沼市、南三陸町)に入り支援活動を開始
2012年8月	長期滞在大学生ボランティアコーディネート事業を開始(以後、毎年夏春期活動継続2,500人以上)
2013年4月	ボランティア滞在拠点「気仙沼ゲストハウス"架け橋"」1号館を設立
2014年4月	団体スタッフ2名が移住し事業化に向けた準備開始
2016年4月	熊本地震被災地に入り、ボランティア滞在拠点「熊本ボランティアハウス山麓園」を設立
2016年9月	特定非営利活動法人Cloud JAPANを設立
2016年6~12月	「気仙沼ゲストハウス"架け橋"」改修工事(旅館業、飲食業の認可取得)
2017年1月	ゲストハウス、絵本カフェの運営開始
2017年6月	気仙沼5軒目の空き家活用物件「シェアハウス"つんとばり"」運営開始
2017年8,9月 2018年2,3月	被災地魅力発信ツアーを実施(参加者80名)
2018年5月	気仙沼の子育て環境への調査を開始

事業内容

気仙沼ゲストハウス"架け橋"

地域の人にもっと地域を好きになってもらい、観光客に第２のふるさとだと思ってもらう活動

シェアハウスつんとばり

移住者たちが気仙沼で楽しく暮らすシェアハウス。新しい家族のかたち。

鹿児島県錦江町

市町村と連携して、住民が求める空き家活用のニーズを見つけるワークショップ運営等のコンサルティング

熊本ボランティアハウス山麓園など

全国で発生した災害直後にスタッフを派遣して被災地の空き家をボランティアの宿にする活動

2-1 絵本カフェってどんなところ？

ゲストハウス（宿泊場所）の空いている時間を使った活動

1.子育て中のママたちの雇用の場

未就学児を育てるママたちが、こどもを連れて働ける場所。

〈宿泊場所の管理〉
・掃除
・洗濯
・ベッドメイキング

〈子育てママが社会と繋がる場所〉
カフェの運営
イベントの企画
イベントの開催

2.子育てママが立ち寄れる居場所づくり

子育て中のママが子連れで働いていることで、お客さんも子連れで来ることに抵抗がなく、ゆっくり過ごせる居場所。子育てについて話す相手がいる場所。

〈カフェ〉
10:30~14:00の間に、お茶っことランチを提供。周りの目を気にせず、こどもが走り回ったり遊んだりしても大丈夫な雰囲気を作っている。

〈イベント〉
普段こどもと一緒だと、なかなかできないことをイベントとして行なっている。スタッフのママが、こどもを一緒にみていることで、ゆっくりできるように運営している。
（イベント例）・ポーセラーツやバッグづくりなど
・美容や整体のイベント

スタッフもママだからこそわかることがたくさんある。
子育て中のママがゆっくりしたい、息抜きしたいと思った時に
選ばれる場所を目指しています！

絵本カフェで聞こえてきた声

ママたちの困った!もっと詳しく!その1

第一子を半年前に出産。こどもが生後6ヶ月になったため、保育園に預けて職場復帰。旦那は育児に協力的だが、朝早くから夜遅くまで仕事で、家に居られる時間は短い。周りには頼れる両親や親戚もいない。

ママたちの困ったエピソードフロー

夜泣きがひどく睡眠がまともにとれていない。
旦那は協力的だが、こどもがママしか受け入れない。

▼

朝起きたら睡眠不足からか頭痛と倦怠感あり。休日で病院はやっていない。

▼

旦那は休日出勤でいない。睡眠をとりたいが、こどもが一緒で全く休めない。

▼

保育所も日曜日は休みで預かってもらえない。

▼

仕事と育児の両立で精神的にも肉体的にも、負担が大きい状態が続いている。

▼

預かってほしいと思ったが、
どこも預かってくれるところは見つからなかった。

ママたちの困った!もっと詳しく!その2

第二子妊娠時に切迫早産になってしまい、自宅で安静にしなければいけなかった。そのため上の子を一時的に預かってもらえる場所が必要になった。
　しかし家族は仕事で、手続きに動けるのは自分しかいなかった。申請に行ったり来たりと動いてしまい、結果として入院。安静が必要なのに申請のために動かなければいけない状況が辛かった。

ママたちの困ったエピソードフロー

病院で診断書を書いてもらう

▼

市役所で入園申し込み書・一時預かり期間書を書く

▼

市役所で幼稚園・保育所に受け入れ可能か確認してもらう。認可外保育所は
自分で受け入れ可能か電話した。
※希望施設に入れない可能性あり

▼

保育所面接（Y さんの場合保育所になった）

▼

保育所の受け入れ OK がでる
改めて市役所にいき、手続きを行う

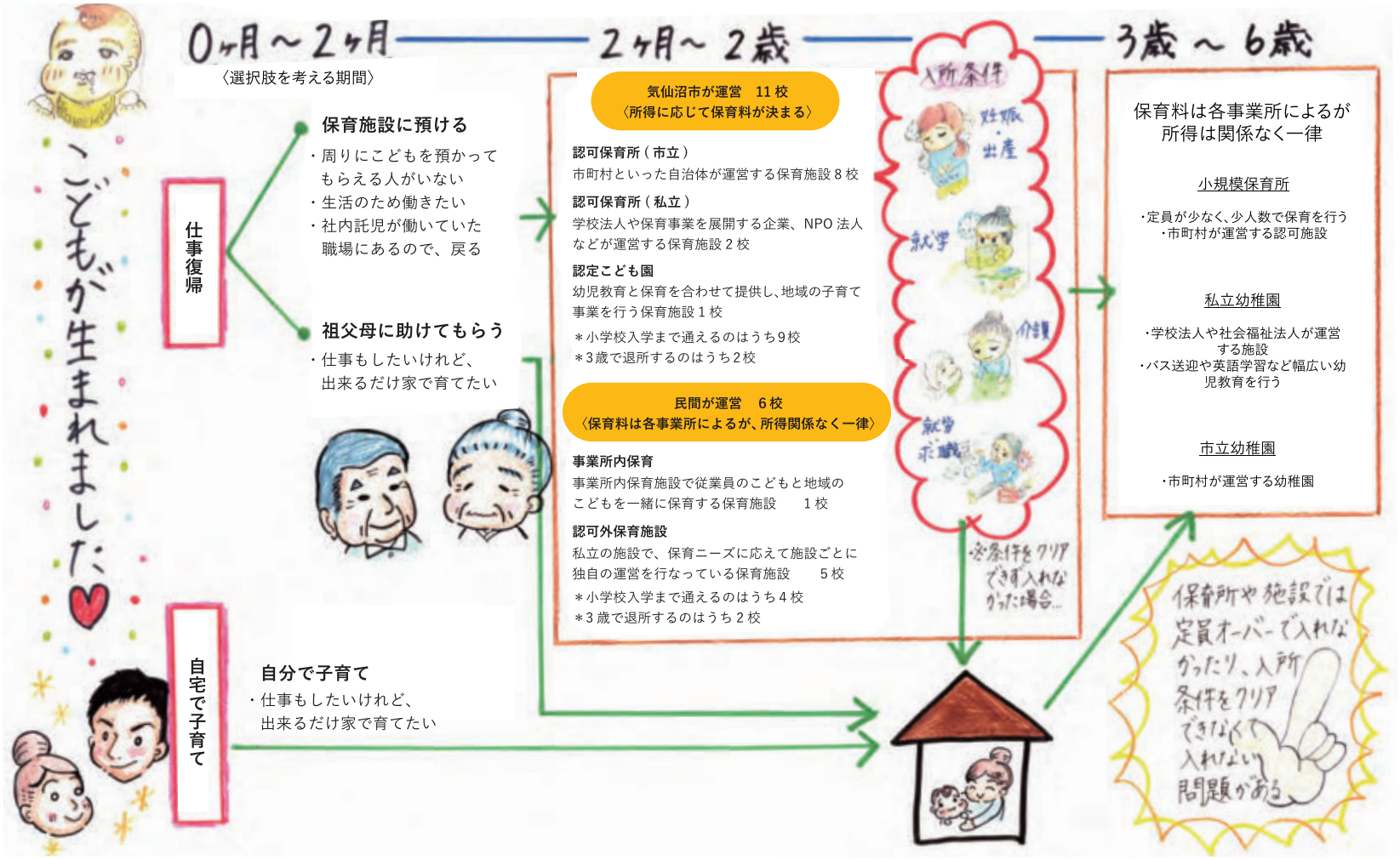
▼

利用開始（Y さんの場合、利用までに**8日**かかった）

2-2 現状調査

気仙沼でこどもが生まれたら、みんなどうしているのだろう

総人口　64065人（0歳：297人　1歳：337人　2歳：351人　3歳：357人）＊2018年12月現在



現状調査 -ずっとじゃなくて一時的に預かってくれる場所-

ファミリーサポート制度

「子育ての手助けをしてほしい方」と「子育ての手助けをしたい方」がそれぞれ会員となり、信頼関係を築きながら子どもを預けたり、預かったり会員相互の助け合いで地域ぐるみの子育てを行うお手伝いをする制度

・会員登録制で事前の打ち合わせがあり、急な託児には利用できないことが多い

・協力会員は養成講座を受講しているが、保育士などの資格は取得していない

・預け先の家庭環境（喫煙、ペットの有無、安全性、衛生面など）がわかりにくい

【ママたちの声】
会員登録制であるため、急に預けることは難しい
預ける際に不安なことが多い

認可保育所内での一時預かり

気仙沼市内の保育所・幼稚園全 32 校中 6 校では一時預かりでの受け入れも行なっている。

・認可保育所と同様の条件があり、事前の審査が必要。妊娠出産・介護など定められた理由でないと条件がクリアできず、急に預けることは難しい。

・空きがなければ受け入れ不可能な場合が多い。

認可外保育施設(託児所)での一時預かり

認可外保育所のうち 2 校では、一時預かりの受け入れも行なっている。

・入所条件などは特になく、どんな理由でも預かってくれるところが多い。

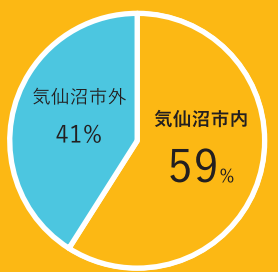
・気仙沼市内の施設は少人数の預かりのところが多く、月極め預かりで定員に達している場合が多い。

（この場合一時預かりは受け入れ不可能となる）

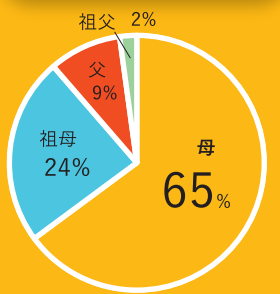
アンケート結果

気仙沼市内に住む未就学児を持つ御家族（137名）に回答して頂いた結果をまとめました。

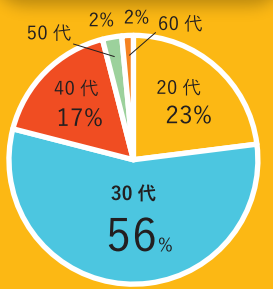
アンケート回答者の出身地



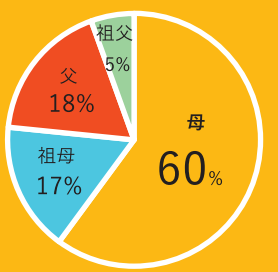
家庭で主に家事を担う人（複数回答可）



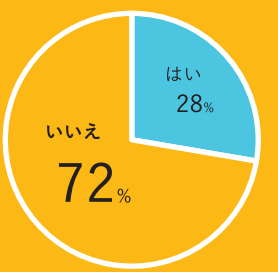
アンケート回答者の年代



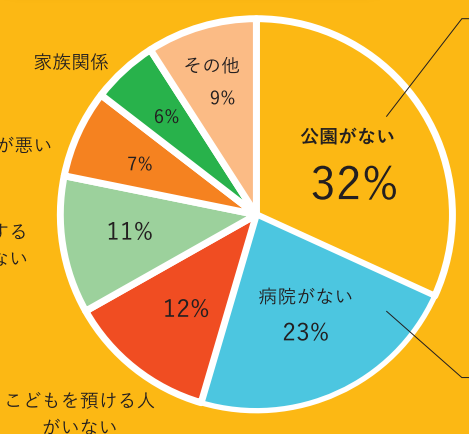
家庭で主に家事を担う人（複数回答可）



気仙沼は子育てしやすい環境だと思いますか



子育てしにくいと感じる理由



①車を持っていないとどこにも出かけられない。
②バスやBRTの本数が少ない。

①子育てはお金がかかる。
・オムツ　5,000円/月
・おしりふき　2,000円/月
・ミルク、離乳食 5,000円/月
（新生児～3歳の平均）
チャイルドシート、ベビーベッド、抱っこ紐、おもちゃ、洋服など費用なものはたくさん。

① 小学生が多いと3歳以下は遊ばせにくい。
② フェンス等がないところが多いため道路に出ないか心配。
③ 屋根がついているところや室内の遊び場がほとんどない　ため、雨や雪の日に遊ばせることができない。

①市立病院は混んでいる。
②受付受診、会計等の手順も多いので大変。
③他科が一緒のため気を使う。
④キッズスペースがないため、子どもを待たせるのが大変。

ママの1日とこどもの1日

0歳児と3歳児（幼稚園）の2人を育てるママの1日とともに紹介

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ママ			夜間何度か起きる 授乳・おむつ交換・抱っこ（0歳） 寝かしつけ（3歳）			朝食準備、旦那さんのお弁当作り	授乳・おむつ交換・抱っこ（0歳）	幼稚園の準備、ごはんを食べさせる、歯磨きをする、着替えさせる、幼稚園の準備をする（3歳）		0歳、3歳を車に乗せる、幼稚園へ行く	自分の朝ごはん、ごはんの片付け、授乳・おむつ交換・抱っこ（0歳）	掃除、洗濯、家の片付け	昼食	授乳・おむつ交換・抱っこ（0歳）		幼稚園のお迎え、スーパーで買い物。0歳（抱っこ）、3歳（手を繋いで歩く）		授乳・おむつ交換・抱っこ（0歳）、夕食の準備	夕食	お風呂に入れる、着替えさせる、歯磨きをする（3歳）	授乳・おむつ交換・抱っこ（0歳）、寝る準備（3歳）	絵本を読む 寝かしつけをする（3歳）	おもちゃの片付けをする、幼稚園の連絡帳を書く、明日の準備をする	授乳・おむつ交換・抱っこ（0歳）、就寝
3歳			0歳の泣き声でたまに起こされる（ぐずる）					起床（ぐずる） 着替え、おむつ交換、朝食、歯磨き、幼稚園の準備（自分でやりたいという、嫌がる、ごはんをこぼす）		幼稚園へ行く（行きたくないと泣くことも）			幼稚園で過ごす			買い物に一緒に行く（ものを欲しがる、買ってもらえないと泣く、歩きたくないという、お店の中を走り回る、抱っこをせがむ）		おもちゃで遊ぶ、テレビを見る	ご飯を食べる（こぼす、嫌がる、途中で遊び出す）	お風呂		寝る（ぐずる）		0歳の泣き声でたまに起こされる（ぐずる）
3ヶ月			大体 3~5 時間ごとにお腹が空く				泣く		おっぱいを飲む		おむつを交換してもらう				寝る		を繰り返す							

自分のご飯はなかなか食べるタイミングがない

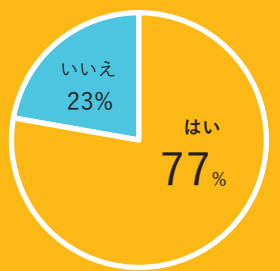
右手に買い物袋、左手に3歳、0歳を抱っこ、リュックに荷物。店内で子どもが騒ぐと白い目で見られることも…

子どもがいる状態だとパソコン作業や裁縫などは進まないから寝てから作業

一時預かり

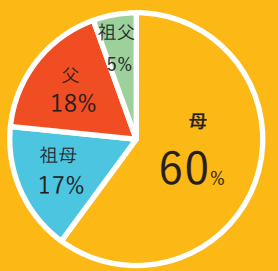
この一時預かりでは、どんな理由でも短期間気軽に預けることのできる場所についてお聞きしました。

一時預かりを利用したいか



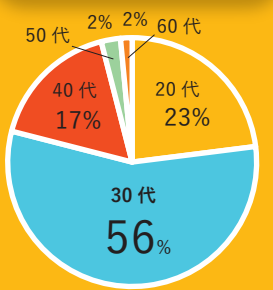
「いいえ」の回答の理由
- 母以外の人は「いいえ」と回答することが多かった。
- 近くに誰か預かってくれる人がいる（祖父母、兄弟等）はいいえと回答していた。

預けたいこどもの年齢



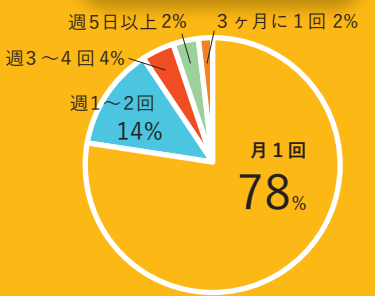
0〜2 歳が多かったのは、アンケート対象がこの年齢の子どもをもつ母親だったため。どの年齢にも変わらず預かってほしいニーズはあると考えられる。

利用頻度



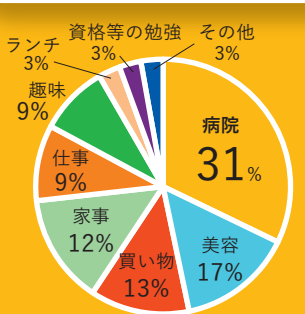
週 3〜4 日は仕事が理由の場合が多い。月に 1 回、週に 1 回は自分の時間をもちたいことが多い。週1〜2回は病院や検診、市役所の用事、上の子どもの行事などの理由が多い。

利用時間

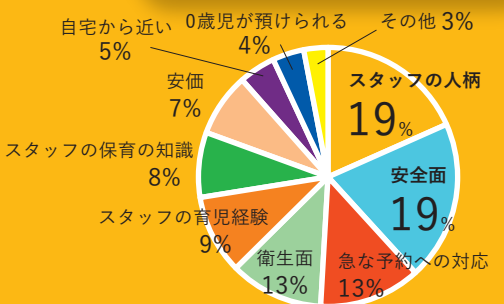


利用目的がどうしようもない用事（ 検診、市役所の手続き等 ）の時、安く済ませたいため、できるだけ短時間の利用がしたい。利用目的が自分のリフレッシュのための時、気分転換のため、ある程度まとまった時間で利用してたい。

こどもを預けている間にしたいこと



施設を選ぶ際に重視すること



アンケート分析

本章では、アンケートのクロス集計（複数の設問を縦横に掛け合わせて集計）し、国勢調査などの既存の調査を元に分析を行った結果の見解を整理します。様々な設問に対してクロス集計を行った結果、「同居世代数別　子育て満足率」について下記の結果が見えてきました。

1.震災によって子どもを預けるコミュニティ（祖父母、近所）がなくなった

地域の課題　まず同居世代数別の「気仙沼市が子育てがしやすい環境だと思えるか？」という回答結果に３世代同居と２世代同居で「緑塗りつぶし」（7%）の通り差が出てきました。その原因として「家事育児をする上でに特に大変なことはなんですか」という設問に対して３世代同居と２世代同居を比べた場合、「青色塗りつぶし」の項目である「手伝ってくれる人がいない」という回答を「３世代世帯」が 7%、「２世代世帯」が 36% という大きな差です。なお、その他の項目では比率に大きな開きはありませんでした。

課題が生まれる理由　大きく分けると２点あります。１点目：子どもをみてくれる祖父母世代（40~70 代）が震災によって減った。震災前（H22）は、40~70 代が全体の 57.9%（※1）となっていましたが、震災により 40~70 代が犠牲者数（※2）全体の65.3%（※3）となり、気仙沼市は災害によって子どもをみてくれる祖父母代が他の世代よりも減少しました。震災後（H27）では、40~70 代が全体の 58.6%（※4）となっています。当該期間において、日本全体の高齢化により、宮城県全体の 40~70 代が 1.2% 増（※5）となっておりますが、気仙沼市は災害前後で宮城県内と比べて 0.7% 増で、宮城県平均より祖父母世代が少なくなっていることが見受けられました。

２点目：コミュニティが分裂して子どもを預けられる近隣の高齢者がいなくなった。地域コミュニティの強い気仙沼市では、震災前は祖父母世代に預けられなかった２世代同居世帯も近隣の高齢者に預けることが多かったです。しかし、震災によってコミュニティが分裂してしまい、１点目の３世代同居世帯も２世代同居世代も、信用を置ける人に子どもを預けることが出来なくなってしまいました。実際、気仙沼市内における国勢調査の居住期間「５年未満」という回答が震災前（H22）14.1% だった結果が震災後（H27）は 28.2% になっています。

2.震災によって子どもを産むことのできる世代（15~49歳の女性）が減っている

地域の課題　気仙沼市では旧気仙沼市・唐桑町・本吉町の時代から総人口の減少率における 15~49 歳の女性の人口の減少率は大きかったですが、震災後さらに深刻化しています。下表のとおり、震災前後での気仙沼市の総人口は 11.6% 減でしたが、子どもを産むことのできる世代（15~49 歳の女性）は 20.0% 減です。

課題が生まれる理由　子どもを産むことのできる世代（15~49歳の女性）の一部ではありますが、気仙沼市震災復興企画部が H26.2 行った高校生（15~18 歳）向けアンケート調査では、6 割近い学生が進学後も気仙沼市への帰郷、定住を考えていますが、そのための必要な要素として１番に「職種の幅、給料」、２番に「娯楽施設、ショッピング」が挙げられています。3.「震災によって子どもを２人以上産まなくなった」

地域の課題　気仙沼市に残っている子どもを産むことのできる世代（15~49 歳の女性）も、子どもがいなかったり１人しか生まない夫婦が多く、被災地沿岸部はワースト８位のうち６市町村となり、気仙沼市は被災地沿岸の中でもワースト 2 位（県内ワースト３位）（※6）となっています。

課題が生まれる理由　上記 1~3 に類する気仙沼市における子育てが心理的・体力的に負担であることが原因であると推察しています。当事者である絵本カフェの子育てママは同様の回答を持っています。

	3世代同居（回答数：63）		2世代同居（回答数：75）	
	回答数（人）	比率	回答数（人）	比率
子育てがしやすい環境だと思いますか				
はい	15	24%	23	31%
いいえ	48	76%	52	69%
家事育児をする上で特に大変はことは何ですか（複数回答可）				
自分の時間がない	41	65%	42	56%
手伝ってくれる人がいない	5	7%	27	36%
ゆっくり寝られない	13	20%	16	21%
働けない	14	22%	14	18%
大変さを理解されにくい	18	28%	17	22%
その他	4	6%	5	9%
	子どもを追いかけるのが大変 仕事との両立 同居で考え方が違う、義親とのやりとり 自分のペースで動けない		仕事が休めない 病児保育施設がない（2 人） お金がかかる 昼に子どもをみるのが自分しかいなく、全く離れられない	
大変だと思うことはない	6	9%	6	10%

年度	H17	H22	H27
気仙沼市の総人口（人）	78011	73489	64988
減少率（ ① ）		-5.8%	-11.6%
15　49 歳女性の人口（人）	14081	12240	9797
減少率（ ② ）		-13.1%	-20.0%
減少率の差（　②-①　）		-7.3%	-8.4%

※1: 全人口：73,489 人、40~70 代：42,565 人【震災前の国勢調査（H22）】※2: 犠牲者数は、死者数・災害関連死・行方不明者数の総数を示す。※3: 市内総数：1,243 人、40~70 代：812 人【気仙沼市発表】※4: 全人口：64,988 人、40~70 代：38,081 人【震災後の国勢調査（H27）】※5 :H27 宮城県全人口：2,333,899 人、宮城県 40~70 代：1,176,031 人）50.4%【国勢調査（H27）】H22 宮城県全人口： 2,348,165 人、宮城県 40~70 代：1,154,761 人）49.2%【国勢調査（H22）】※6:「子供の有無・数別夫婦のいる一般世帯」宮城県平均：69.6%。気仙沼市：75.9%【H27 国勢調査 宮城県震災復興企画部統計課発刊の報告書 別表 5】

市外の地域の視察

-近隣地域の幼稚園、保育園以外にこどもを預かってくれる場所-

Cafe&Living Uchida

所在地　岩手県奥州市
定員　12 名
建物　1 階 : カフェ兼託児所　2 階 : 古道具店
3 階 : オフィス兼ギャラリースペース
資金　自主財源
従業員　保育士 4 名　補助スタッフ 1 名
料金　一時預かり　2 時間 1500 円　4 時間 2500 円
8 時間 5000 円　カフェ利用の場合　1 時間
500 円 (外出不可)　＊月極預かりは要相談

近くに提携病院があり、保健所、消防ともしっかり連携していた。緊急の時の対策を考えることが大切だと思った。/ 補助金なしでの民間施設であったが、料金が高くなく、利用しやすいと感じた。/ カフェで食事を楽しんでいる間にこどもを預けることができ、同じ建物内でリフレッシュできる。

チャイルドケアサービスも･も

所在地　宮城県石巻市
建物　平屋の戸建住宅 (借家)
資金　自主財源
従業員　保育士 1 名、ベビーシッターの資格を持つ 3 名
料金　入園登録料　5000 円 / 年
一時預かり　800~1,500 円
(曜日、年齢、時間によって異なる)
月極預かり　32,000 円 ~45,000 円
(年齢によって異なる)

預かりだけでなく、自宅訪問して沐浴や家事手伝いをしており、ママたちの困りごとをサポートできていると感じた。/ 出張託児は、託児の存在を知ってもらうためにもよいと感じた。/ 柵つきの広い庭があり、外でも遊べるところがよかった。

ichi

所在地　福島県いわき市
建物　元医院の平屋
(カフェとワークショップスペースが併設)
3 階 : オフィス兼ギャラリースペース
資金　自主財源
従業員　保育士が主 (資格の有無は問わない)
料金　見守り託児　1時間500円 (カフェ利用に限る)
完全託児　1 時間 700 円

ワークショップスペースやカフェが併設しており、ママの居場所があって素敵だった。/ こどもを連れて働けるところが参考になった。時給は保育士 950 円、一般 800 円。(こどもを連れて出勤する場合は託児料として −50 円)

のびすく 泉中央

所在地　宮城県仙台市泉区
定員　9 名
建物　泉図書館内
資金　仙台市からの委託
従業員　9 名 (シフト制
常時保育士 2 名、補助スタッフ 1 名がいる)
料金　一時預かり　1 時間 600 円
(以後 30 分ごとに 300 円)

仙台市内だけでなく、仙台に遊びに来たママたちも預けられるところがよいと感じた。
スタッフが多く、安心感があった。

3-1 気仙沼の空き家事情

聞こえてきた声

自分もこどもたちも今は仙台に住んでいて
もう戻ってはこないんだ。
誰かに貸したいと思ってるんだけど、昔の荷物
がそのままになってるから、その辺わかって
くれる人がいればなあ。

隣の家、親戚のおばちゃんが
一人で住んでいたんだけど、
介護施設に入ったから
もうすぐ空き家になるんだ。

アパートを探したけれど、
なかなか 1 人暮らし用が見つからず
あるのはファミリー用。
家賃も 4-5 万以上するところばかりで。。。

初めての一人暮らし。
知っている人はほとんどいないし、
車も持ってないし、不安がいっぱい。

架け橋で見えてきた・・・可能性

気仙沼には空き家がたくさんあるのに、
移住してくる子やママたちは家や活動場所に困っている。

空き家がうまく活用できない理由は何だろう?

4-1 空き家調査

階上エリア

1. 紹介者：絵本カフェお客様
物件情報：平屋、3 部屋くらい、1～2 年前から空き家
活用困難な理由：物件が小さく古い。

2. 紹介者：シェアハウス同居人
物件情報：2 階建て、5 年ほど前より空き家
活用が困難な理由：：所有者の連絡先がわからなかった。

3. 紹介者：ゲストハウス近隣住民 T さん
物件情報：2 階建て、1 年ほど前より空き家
活用困難な理由：室内の私物がそのままになっているから。

4. 紹介者：ゲストハウス利用客 O・T さん
物件情報：2 階建て、数ヶ月前より空き家
活用困難な理由：持ち主が亡くなられたばかりだったから。

5. 紹介者：ゲストハウス近隣住民 C さん
物件情報：平屋、元お菓子屋さん、半年ほど前より空き家
活用困難な理由：持ち主が亡くなられたばかりで、本家であるから。

6. 紹介者：シェアハウス同居人
物件情報：2 階建て、駐車場 6 台、庭付き
活用困難な理由：老朽化が激しく改修が困難だったから。

大谷・津谷エリア

7. 紹介者：移住定住支援センタースタッフ
物件情報：2 階建て、先月まで人が住んでいた
活用困難な理由：改修が不可の物件だったから。

8. 紹介者：絵本カフェスタッフ旦那さん
物件情報：2 階建て、8 部屋、リフォーム済み
活用困難な理由:市街地からの距離が離れすぎきているから。

市街地エリア

9. 紹介者：ゲストハウス利用者 A さん
物件情報：A さんの実家
活用困難な理由：物件が小さく古かったから。

10. ゲストハウス利用者 A さん
物件情報：A さんの親戚の家
活用困難な理由：道路が細く車でのアクセスが難しいから。

★ 紹介者：近隣幼稚園の先生（B さん）
物件情報：2 階建て、3 年ほど前より空き家
家の状態良好、市街地にある、大家さんの理解が得られた。
→活用できる物件だと判断。賃貸契約を結ぶ。

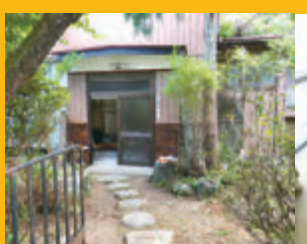
【空き家はあるが活用が難しい理由】

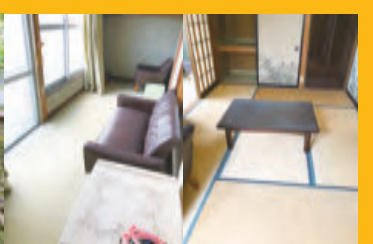
大家側の理由

大家さんが見つからない、建物内に遺品等が残っている等。

物件側の理由

アクセスが悪い、立地条件が悪い、建物の老朽化が激しい等。





4-2 スタッフ紹介

特定非営利活動法人 Cloud JAPAN　代表理事

田中　惇敏

Tanaka　Atsutoshi

子どもよりも子どもの代表。
頼って頼られての精神でいくと、むしろ子どもから学ばせてもらっているのは私たちであり、成長させてもらっているのは私たちである。そういう意味では、子どもたちは変革者たる当事者である。好きな言葉は、最後は愛が勝つ。将来の夢は、子ども５人に恵まれ、気仙沼で一次産業（農業、漁業、狩猟）をすること。

特定非営利活動法人Cloud JAPAN　元理事

志田　ももこ

Shida　Momoko

気仙沼に移住してきて3年。元小児病院看護師。病院で働いている時にこどもの成長の嬉しさと、子育ての大変さの両方を感じました。こどもも家族も健全に成長していくためには、ママの心が健康であることが大事。心のゆとりがないと、ママの笑顔がないと子育てはうまくいかないと思っています。そういったゆとりを生み出すために、現場の声を反映させた託児とママの居場所を作りたいと思っています。ここで子育てしたいと誰もが思える気仙沼にしていきたいと思います。

半沢 裕子
副代表理事

気仙沼生まれ、育ちで３人の娘を育てながらカフェの代表、家事、子育てとバタバタした生活をしています（笑）カフェを通して子育て中のママと交流していく中で自分の時間を作るということの難しさをよく耳にしました。わたしは周りの方が預かってくれたり、子連れで仕事が出来るという恵まれた環境にいて、子育てを楽しんでいます。わたしを助けてくれた人達の立場になりたいと思い活動を始めました。

佐藤 華菜
絵本カフェ架け橋

気仙沼生まれ。１９歳の時に妊娠・出産。４歳の女の子と０歳の男の子がいます。自分が育児していくなかで、周りの方々の育児の仕方や接し方を学んでいければと思います。ママとこどもの笑顔を増やせるように頑張ります！

熊谷 春美
絵本カフェ架け橋

生まれも育ちも気仙沼！ただ今、イタズラ大好きな息子２人を育てています。
お腹には３人目を妊娠中です。
ママ達の交流の場であったり、こどもが友達と遊ぶ場で、お互いにリフレッシュになるような託児施設を作りたいと思い、沢山の笑顔の時間が増えることを願っています。私もこどもたちと楽しく過ごしていきたいと思います。

尾形 幸
絵本カフェ架け橋

現在 4 歳と 2 歳の元気いっぱいな息子達、旦那の両親と同居しています。息子を出産後、家事と育児と手いっぱいで家から出ないで引きこもっていました。絵本カフェで働くようになり、多くのママ達に育児の相談にのってもらったり、イベント等に出かけるきっかけをもらいました。託児施設ができることで、ママ達の趣味や息抜き・交流の場になり、リフレッシュした状態で子育てを楽しんでいただけたらと思います。

川元 悠依
絵本カフェ架け橋

気仙沼で、こども達のお母さんになり、７年目になりました。毎日楽しく、バタバタとすごしております。子育てをするうえで、ママにとってもこどもにとってもリフレッシュできる空間を作る事はとても大切だと思っております。託児施設が子育て中の方にとってよりよいものとなって欲しいと思っております。

佐川 彩花
絵本カフェ架け橋

生まれも育ちも気仙沼！一度も気仙沼を出たことがなく、気仙沼の良い所ばかりを吸収して生活してきました。
でも子育てを始めてから、あったら楽なのに。。と思うことが増えてきました。その中の一つが託児施設です。同じ思いの人が、気仙沼で楽しく子育てが出来れば良いなと思います。

小出 悟
NPO法人Cloud JAPAN理事

初めまして。新潟から移住して来ました！夜のゲストハウススタッフをしています！
最近のマイブームは気仙沼に住む外国人に日本語を教えること。絵本カフェのママやこどもたちには日々癒しと学びをもらっています。今はまだ自分が絵本カフェの方に関わる時間は少ないですが（食洗機としてでもいいので）共にする時間が増え、いつの日かゲストハウスと絵本カフェが調和してお互いがもっとハッピーになると良いなと思っています！

鈴木 和海
絵本カフェ架け橋

気仙沼に嫁いで６年目になりました。現在３歳になる息子がいます。慣れない土地で子育てをする上でどうしても誰かに頼らなければならないときが何度もありました。
託児施設を作ることで、気仙沼のママの子育てが、もっと楽しく幸せな時間になることを願っています。そしてわたし自身ももっと楽しく子育てをしたいと思います。

助成団体

トヨタ財団「しらべる助成」
未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ - 地域に開かれた仕事づくりを通じて -

協力団体

１）調査協力団体
気仙沼市役所　子ども家庭課

２）アンケート調査実施協力団体
気仙沼児童センター
学校法人あしのめ学園　葦の芽幼稚園
学校法人あしのめ学園　葦の芽星谷幼稚園
生活支援プロジェクト K・ママの心と身体の健康サロン「ママのくつろぎタイム」
特定非営利活動法人ピースジャム
鹿折児童館
鮪立児童館
赤岩児童館
大島児童館

復興庁

2018「新しい東北」復興ビジネスプランコンテスト「LIXIL 賞」受賞
空き家 × 託児 × シェアハウス＝∞

発行元　特定非営利活動法人 Cloud JAPAN

代表理事　田中惇敏
編集　絵本カフェ架け橋　スタッフ
デザイン　おかめデザイン
問い合わせ先　〈電話〉0226-29-6514
〈メール〉 info@cloud-japan.org
URL　〈Cloud JAPAN〉http://cloud-japan.org/aboutus/
〈絵本カフェ〉https://www.facebook.com/cafekakehashi/

発行日：2021年2月1日